

学校教育課の目標（平成19年度）

学校教育課長 角井 一郎

1 課の役割

学校教育課は、児童生徒の生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）の育成を目指して、町立小・中学校の学校運営の充実を支援する役割を担っています。

2 個別事業とその目標

1 町立学校の学校運営上の課題解決への支援

- ・ 介助員の配置やコーディネーターへの指導・支援により特別支援教育の充実を図っています。
- ・ 学校評議員会議の充実を図り、開かれた学校づくりを推進しています。
- ・ 新しい教育課題（教育基本法の改正、教育三法の改正や全国学力・学習状況調査、キャリア教育、食育、学校安全、情報教育など）に関する情報を収集し、学校への周知と適切な運用・活用を支援しています。

2 酒々井町ならではの教育活動の推進

- ・ スクールサポート指導員を各学校に配置し、個に応じた指導を支援しています。
- ・ 豊かな心を育むCTSプラン補助金を交付し、各校の教育活動を支援しています。
- ・ 人権・同和教育を各校の学校経営の柱の一つに据え、温かい人間関係づくりに努めています。
- ・ 学校図書館支援センター推進事業に取り組み、学校図書館の充実に努めています。
- ・ 町内3校しかない利点を活かし、小中連携を推進しています。
- ・ 社会科副読本リーフレットの活用と社会科副読本の改訂作業を進めています。
- ・ 地域の防犯ボランティア団体の協力を得るなどして、児童生徒の安全確保を図り、併せて安全教育を推進しています。

3 教育条件の整備

- ・ 教材備品、学校図書 of 充実に努めています。
- ・ 学校予算の確保に努めています。
- ・ 酒々井小学校遠距離通学者のためのスクールバスの運行を行っています。
- ・ 新就学児童の防犯ブザー購入に際して、半額を補助しました。
- ・ 適切な就学援助に努めています。

4 教育相談事業の充実

- ・ 学校適応専門相談員の配置により、不登校対策の充実を図っています。
- ・ 各学校の適応指導委員会に職員を派遣し、適応指導の共通理解に努めています。
- ・ 長欠の出現率を押さえ、長欠者の学校復帰、学級復帰を支援しています。

5 教職員の資質向上

- ・ 教職員研修を企画し、指導技術の向上に努めています。
- ・ 新制度(教職員の目標申告制度と業績評価)の円滑な導入と適切な運営に努めています。
- ・ 教職員の綱紀粛正について、その指導に努めています。

6 チャレンジ目標

- ・中長期的な視点に立ち、酒々井町小中連携推進協議会が進める「小中連携指導5項目」に掲げる児童生徒の姿（1.挨拶をすることができる 2.掃除をすることができる 3.時間を守ることができる 4.人の話を聞くことができる 5.自分の考えを話すことができる）を達成できるよう、義務教育9年間を通して取り組んでいます。